

林内科 かわら版

おかげ様で30周年!



開院当初の写真は見つからず・・・これは10年ぐらい経ってからの写真です。

院長からのご挨拶



気がつけばいつの間にか開院三十年になっていました。振り返ればアツという間のような気がします。開業当初を思い出してみますと・・・

当院の歴史はまずヤクザ屋さんから建物を買取ることから始まりました。こんなことを書くとはビックリされる方も多いと思いますが、本当の話です。

当院の前身は四回ほどつぶれた診療所でした。勿論そのつど開設者は変わりましたが、結局最後にヤクザさんの手に落ちてしまいました。その為当院は売り物であっても、誰も怖がって近づけず・・・一年間ペンペン草に覆われ、この地特有の強い風にさらされて、野ざらし状態でした。

そんな事情とは露知らず、某医療ブローカーから「医療過疎地で地域住民が困っているから」との話に乗せられて(当時も今も他人を疑うこと知らない)私はこの地での開業を決意しました。ところが銀行に行くと初めて事情を知り真ッ青。

「あんないわくつきの物件はやめて他によい場所は沢山あるから」と言われても、既に急がされた内金は義父から借りて支払っていましたし、止めるわけにはいきません。その後の交渉は、胃の痛くなるような日々でしたが、無事に当院を手に入れることができました。それも値引きまでさせて。今考えてみると彼らも売りに売れなくて困っていたのでしよう。私の値引き要請をあっさり呑んでくれたのですから。いいヤクザ屋さんだったのかも知れません。

さて開業するにあたってまずイメージアップを図らねばなりません。道路際に赤い大きな看板をたてました。ラーメン屋みたいだと揶揄されました。屋根も赤く塗り、まるで幼稚園のようになりましたが、病院が変わった！若くて新しい医者 came! ということを近隣の皆様に知ってもらうことを優先しました。

スタッフにも恵まれました。若くて美人の受付嬢二人、温厚で働き者の看護婦も得て順調な滑り出しでした。最近では珍しくもなくなりませんが、いち早く夜間診療を取り入れ、啓蒙の為に時々公民館などで医療講演も行いました。そんな活動が徐々に受け入れられたのでしようか、多少の紆余曲折もありましたが、何とか順調に三十周年を迎えることができました。皆様からの信認とご支援の賜物と心より感謝しております。

さて三十年といえますと、建物も私も老朽化していることになりました。そこでアンチエイジング(抗老化・若返り)が必要と思ひ、遠慮がちに建物に化粧を施してみました。南欧風の壁と屋根、美術館風のアプローチをイメージしたのですが・・・感じていただけただけでしょうか？私の方はいいいますと、薄化粧を施すわけにも行きませんので、日頃の運動習慣(テニス、ゴルフ、水泳)の継続と、しっかりした食生活、生活習慣を維持することを心がけております。更に一年前からはプラセンタ(胎盤エキス)療法(※)を行って、体調の維持、増進をはかっております。お陰でまだまだ働けそうです。

診療内容も、一昨年から超音波診断の超エキスパートの坪坂先生を迎えて腹部領域は大いに充実しました。訪問看護の超エキスパートの木村看護師も、更なる情熱を持って定年後も働きたいとの事で私も一安心。気配り目配りに長けた、きれいい好きで働きの今井看護師を中心としたスタッフも、意欲満々です。

私は、開業時も今も良いスタッフに恵まれて、大変ありがたいと思っております。このチームワークで来るべき四十周年に向けて、皆様と一緒に当院の歴史を創って生きたいと思っておりますので、引き続きご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

※プラセンタ

(胎盤エキス)療法とは

胎盤(プラセンタ)から抽出されたエキス院の有効成分を、注射、サプリメントなどにより治療に用いる療法の総称をいいます。新陳代謝を促進、自律神経やホルモンのバランス調整、更年期症状の改善、コラーゲンの生成促進、細胞の増殖再生、免疫・抵抗力を高める等、様々な薬理作用をもっており、



つぶやき言葉(ツイッター)募集!!

当院のドアの前の壁面に、魚の絵が架かっているのをご存知でしょうか？私がバリ島で買求めたものです。よく見ると二匹の魚が艶やかに着飾っています。オスとメスでしょうか。ハートマークも見えますね。そして気泡のブクブクが...ブクブクブクブク何か言っているように思いませんか？

例えば

“人間様にはわかるまい。水の中にも恋はあるのさ”とか
“いつも父さんに押さえつけられて辛いワ”とか

皆さんもこの絵を見て何かつぶやいて下さい。今流行のツイッターです。短い言葉でつぶやいてください。作品を募集します。皆で遊びましょう。応募してくださった方には粗品を進呈♪

